

分校のある風景

霜里学校便り

下里地区のみなさま、日頃よりNPO法人霜里学校の活動にご理解ご協力を賜りありがとうございます。“分校のある風景”霜里学校便りはNPOの日々の活動をレポートいたします。インターネットでも活動の様子を随時掲載中です。「霜里学校」で検索してください。

さくら祭りおかげさまで大盛況でした！

皆さんこんにちは！今年も4月6日（日）に「第7回 下里さくら祭り」を無事に開催することができました。

直前まで天気予報に雨マークがついていてハラハラしていましたが、当日は暑すぎず寒すぎず、お花見にはちょうどいい気候になってくれてホッとしました。

おかげさまで、たくさんの方に来ていただき、大にぎわいでした！

ふだんは入れない校舎の中もこの日は特別に開放したところ校内に展示してある「ぼくらの分校」からの抜粋写真を見て、分校が現役だったころの様子に「うらやましい！」という声がたくさん聞こえてきました。

ふだんの管理の中でも同じような声をいただくことがあって、そのたびにちょっと誇らしい気持ちになります。

「廃校とは思えないくらい手入れされてますね」と言ってくださる方もいて、あらためて、いつも頑張ってくださいている管理人さんたちに感謝する一日となりました。

分校の卒業生として、そして下里に暮らすひとりとして、この場所の良さや魅力をもっといろいろな人に知ってもらえるように。

そして、地元・下里の皆さんにももっともっと親しんでもらえる場所になるよう、これからも活動を続けていきます！

（裏面もご覧ください）



さくら祭りにぎわう校庭



奠座に座ってひと休憩



ボランティアスタッフさん達と

恩師との久しぶりの再会。気持ちはすぐに子ども時代へ

第7回「下里さくら祭り」の開催と同日に、分校の「2年生教室」を会場として「プチ同窓会」も開催いたしました。

参加者は主に現在40代の分校卒業生と、当時の恩師の先生方。教室に一步足を踏み入ると、まるで30年以上前にタイムスリップしたかのような、懐かしさに包まれた空間が広がっていました。

ご参加いただいた恩師の皆さまは、稲葉先生、河村先生、代先生、原先生、そして用務員の大野さん。いずれも、我々の世代にとってはまさに“レジェンド”と呼ぶにふさわしい方々ばかりで、感動を通り越し、まるで夢を見ているかのようなひとときとなりました。お名前をご存知の方も多いのではないでしょうか。

今回このような会を開催した背景には、将来的に分校を支え、維持していくためにも、この年代の卒業生の皆さんに現在の分校の様子や取り組みを知っていただき、関心を持っていただくきっかけをつくりたいという思いがありました（もちろん、単純に懐かしい顔ぶれと再会したいという気持ちも大きな動機のひとつです！）。

日頃、分校を訪れる方々と接していて強く感じるのは、「語り部」の存在の大切さです。とくに「ここに通っていたんですよ！」というひと言は、聞いた人の表情を一瞬で変える不思議な力があります。そうした意味でも、今後この下里分校を存続させていくには、卒業生の皆さんの力が欠かせません。今回は、その“種まき”としての意味も込めて開催させていただきました。

今は仕事や家庭に忙しい日々を送っている世代の卒業生の皆さん。そのすべてが、未来の下里分校を支える大切なリソースです。

今回の集まりが、そのことに気づいていただける良い機会になっていれば嬉しく思います。

今後もこのような集まりを企画してまいりますので、お時間のご都合がつかう際には、ぜひご参加ください。



総勢18名が集まりました



4/16のさくら祭りは約1000人にご来場いただきました

編集後記

今年も無事さくら祭りが開催することができたのも、地域の皆さまの深いご理解があった為と感謝いたしております。今後も下里地区と下里分校の魅力を広く知ってもらえるように活動を進めて参ります。 小熊健一

2025年5月1日発行

NPO法人霜里学校

〒355-0323

埼玉県比企郡小川町大字下里824番地

TEL:0493-81-5331